

ふたば医療センター附属病院の取り組み



福島県ふたば医療センター附属病院
副院長兼看護部長 児島由利江

今日、お話しすること

- 基本的な方針

- 取り組みと実績

- (1) 救急医療（多目的医療用ヘリ運用含む）

- (2) 訪問診療・訪問看護

- (3) 健康増進支援

- (4) 地域包括ケア推進支援

- (5) 在宅療養支援



基本的な方針

- 双葉地域の医療機関や近隣の二次・三次救急医療機関、消防機関等との連携のもと、広域的な救急医療体制を構築し、3つの安心を医療の面から支える。
 - ① 住民が安心して帰還し生活できる
 - ② 復興事業従事者が安心して働ける
 - ③ 企業等が安心して進出できる
- 双葉地域の医療機関や町村との密接な連携を図り限られた人材・医療資材の中で最大限の医療を提供する。
 - ・ 地域の医療機関からの紹介・依頼された患者に必要な医療を提供する。
 - ・ ふたば医療センター附属病院での急性期治療等が終了した患者は、地域の医療機関紹介する。
 - ・ 要請に応じて診療所等における在宅医療を支援するとともに、患者の在宅復帰支援に向けた双葉郡町村担当者との情報交換を行う。

機能と体制

◆ 診療科

救急科・内科（救急医及び内科医が中心となり対応）

医師：平日日中は4～5名、夜間は2名（内科系・外科系）体制。

◆ 診療支援

福島県立医科大学の全面的バックアップによる診療及び画像診断支援

広島大学からの支援

◆ 病床数

30床（全室個室）

◆ 医療スタッフ

医師、看護師、薬剤師、放射線技師、臨床検査技師、作業療法士、理学療法士、管理栄養士 等

◆ 医療器

CT撮影装置、デジタルX線透視診断装置、セントラルモニタ、超音波診断装置、電子内視鏡システム、心臓マッサージシステム 等



今日、お話しすること

- 基本的な方針

- 取り組みと実績

- (1) 救急医療（多目的医療用へり運用含む）

- (2) 訪問診療・訪問看護

- (3) 健康増進支援

- (4) 地域包括ケア推進支援

- (5) 在宅療養支援



提供する医療 その1

診療

<方針>

- 対象患者は、原則として、「救急車で搬送された患者」、「夜間、休日や祝日など地域の医療機関が開院していない時間帯に急な発熱や腹痛などにより自分で来院した患者」、「地域の医療機関で対応困難な患者や入院等の措置が必要と判断され紹介された患者」等。
- ふたば医療センター附属病院での急性期治療等が終了した患者は、地域の医療機関に紹介する。

「不応需事例ゼロ」
を目指します！

他医療機関から「リハビリ紹介」に対応しています！

いわき市医療機関からの紹介
（緩和ケア・対応困難な慢性疾患）にも対応しています！

<診療内容>

(1) 救急医療（24時間365日対応）

- 「一次救急」「高度医療や専門医療を必要としない二次救急」などを中心とした救急医療を提供する。
- 「高度医療や専門医療を必要とする患者」は、県立医科大学附属病院をはじめとする県内の救急医療機関に搬送する。
- 搬送先での高度医療や専門医療が実施された患者に対して、継続した急性期医療やリハビリを提供する。

(2) 災害医療及び緊急被ばく医療

- 災害医療に加えて、放射性物質による汚染や被ばくを伴う患者への初期診療など

(3) その他

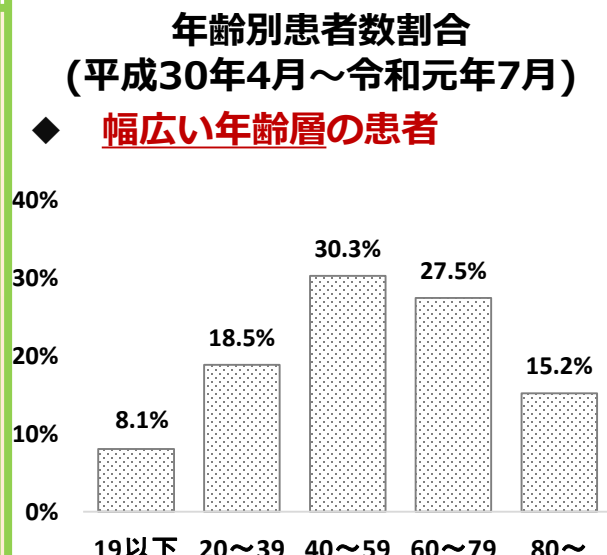
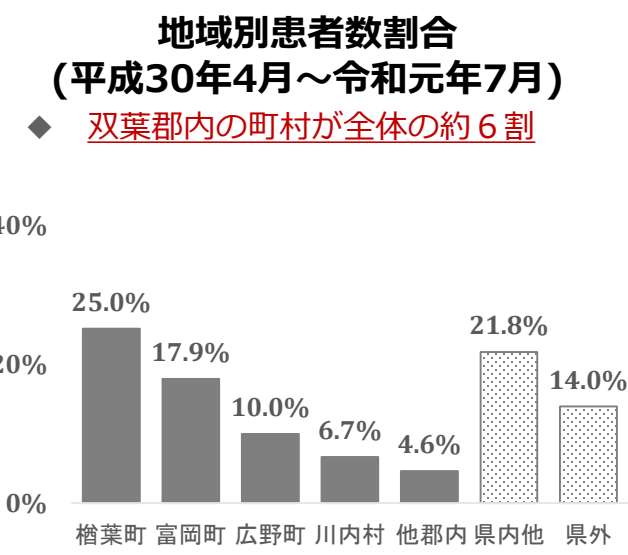
- 糖尿病など教育入院が必要な疾患において、地域の医療機関からの紹介患者を対象とした教育入院プログラムの実施に向け検討している。

まもなく、「生活習慣病チャレンジ入院」を始めます！

患者状況

外来患者数(診療開始～令和元年7月末)

3,918人 (1日当たり 8.4人)



双葉地域の救急の状況						令和元年7月末	
	搬送人数 (a)	うち管内 搬送 (b)	管内搬送 率 (b/a)	うち 当 院への搬 送 (c)	管内搬送中、 当院への搬送 率(c/b)	60分以上 の搬送 (d)	60分以上 の搬送率 (d/a)
H31.4.1～R1.7.31	339	204	60.2%	192	94.1%	160	47.2%
H30.4.23～H31.3.31	905	503	55.6%	444	88.3%	452	50.0%
H29.1～H29.12 (通年)	711	199	28.0%	-	-	456	64.1%
H22.1～H22.12 (通年)	2,454	1,545	63.0%	-	-	685	27.9%

※ 当院・・・ふたば医療センター附属病院

・ふたば医療センター附属病院(24時間365日対応)の開院以降、**救急の管内搬送率が向上し、搬送時間が短縮されている。**(搬送数は病院の集計と異なる。)

外来患者数3,918人のうち ※令和元年7月31日現在

- ・救急車による搬送 678人 (17.3%)
- ・徒歩・自家用車等 3,240人 (82.7%)

症状の傾向 ※令和元年7月31日現在

- ・外傷・筋骨格系 33.2%
- ・感冒・発熱等の呼吸器系 15.1%
- ・リハビリ診療 9.5%

入院患者の状況 ※令和元年7月31日現在

- ・平均入院患者数 4.0人 (最大11人)
- ・平均在院日数 7.5日
- ・平均年齢 70.8歳

<搬送手段>

<救急車による搬送>

<多目的医療用ヘリによる搬送>

ふたば医療センター附属病院や浜通りの医療機関及び消防機関等と県立医科大学附属病院をはじめとする県内の救急医療機関との連携強化による、**双葉地域等における広域的かつ質の高い救急医療体制を構築する。**

- ①ふたば医療センター附属病院⇒専門医療機関
- ②専門医療機関⇒ふたば医療センター附属病院
- ③他医療機関⇒専門医療機関
- ④専門医療機関⇒他医療機関



	搬送先地域						
		双葉	相馬	いわき	中通り	会津	計
搬送元地域	双葉		4	14	17	1	36
	相馬	0		1	7	0	8
	いわき	1	0		10	0	11
	中通り	1	1	0		0	2
	会津	0	0	0	0		0
	計	2	5	15	34	1	57

今日、お話しすること

- 基本的な方針

- 取り組みと実績

- (1) 救急医療（多目的医療用ヘリ運用含む）

- (2) 訪問診療・訪問看護

- (3) 健康増進支援

- (4) 地域包括ケア推進支援

- (5) 在宅療養支援



提供する医療 その2

在宅・訪問医療

(1) 在宅復帰支援

急性期治療終了後、在宅復帰に不安のある患者に対して、医師、看護師をはじめ、リハビリスタッフ等が協力し、在宅復帰を支援する。

(2) 訪問診療・訪問看護等

在宅復帰後は、地域の医療機関（かかりつけ医）からの依頼に基づき、訪問診療・訪問看護等を実施する。

地域包括ケア推進の支援

地域行政、地域包括支援センター、医療機関、介護福祉施設と連携し、地域包括ケアの一環として未治療者・重症化予防対策や認知症への対応を支援する。

健康増進支援

職員や外来講師による健康講座や研修会等を通じて、地域住民や復興事業従事者の疾病予防及び健康増進を支援する。

谷川院長の方針：「道路は廊下、訪問先のお宅は病室です。ケアを行う場所が異なるだけです。ニーズに合わせた適切なケアを行っていきましょう！」

福島県ふたば医療センター附属病院理念 看護部長期目標・31年度目標

病院	看護部	31年度目標
双葉地域の復興と地域住民や復興事業従事者の安心を医療の面から支えます 住民等の健康を守る医療・信頼される医療をめざし、地域住民とともに歩みます	双葉地域の住民や復興事業従事者が健康に生活できるよう看護を提供します	
高い倫理観のもと、命と人権とプライバシーを尊び、患者さん中心の医療を提供します	人権とプライバシーを尊び高い倫理観の基にその人らしい生活ができるよう看護を提供します	対象の個別性を尊重し思いに沿った看護の提供を強化します
近隣の医療機関との連携のもと、双葉地域の救急医療を担い、良質で安全な医療を提供します	リスク感性を高め医療事故防止に努め、科学的根拠に基づいた安全で安心な看護を提供します	医療安全対策マニュアル遵守を強化し医療事故を防止します
地域住民や復興事業従事者が地域や在宅での療養を安心して継続でき、より健康に生活できるように支援します	地域住民や復興事業従事者が地域や在宅での療養を継続できるよう看護を提供します	対象を生活者として捉え個別的な在宅療養支援を行います
医療機関や介護施設・事業所、町村と協働し、地域の包括的な支援・サービス提供体制（地域包括ケアシステム）の構築を医療面から支えます	地域市町村との連携・協働により、地域包括ケアシステム構築に向けた取り組みを行います	出前講座や交流会、地域とのネットワークづくりに積極的に取り組みます
職員一人ひとりが専門職としての誇りを持ち、医療の成果を県内、全国に発信します	一人ひとりの職員が自ら学び互いに高め合い、私たちの看護を発信します	一人ひとりが自己研鑽し、看護実践をまとめ、県内外に発信します

訪問診療・訪問看護

訪問看護は当院の主治医の指示により看護を提供しています。

ふたば医療センター附属病院 訪問診療及び訪問看護の活動実績

	年齢	居住地	期間	訪問診療	訪問看護
Aさん	81	檜葉町	H30.7~	—	一般状態観察・リハビリ・服薬指導・介護相談
Bさん	90	浪江町	H31.4~	—	ストーマ管理・バイタル測定・入浴介助・傾聴
Cさん	89	檜葉町	H30.11~12.30	看取り	終末期ケア 観察・介護相談
Dさん	96	檜葉町	R元.6~6.29	看取り	終末期ケア 観察・介護相談
Eさん	66	広野町	R元.6~	診察	緩和ケア

令和元年7月16日



今日、お話しすること

- 基本的な方針

- 取り組みと実績

- (1) 救急医療（多目的医療用ヘリ運用含む）

- (2) 訪問診療・訪問看護

- (3) **健康増進支援**

- (4) 地域包括ケア推進支援

- (5) 在宅療養支援



出前講座

福島県ふたば医療センター附属病院

出前講座

ふたば医療センター附属病院では、皆様の健康に関する様々な疑問や不安について、わかりやすくお答えできるよう、専門スタッフが地域にお伺いいたします。希望される場合は下記担当宛にお電話ください。

担当	テーマ
薬剤部	知っておきたい薬の知識
薬剤部	『お薬手帳』の上手な使い方
診療部 (リハビリテーション)	ロコトレで体を動かし元気に長生き！
診療部 (リハビリテーション)	糖尿病と運動療法
診療部 (リハビリテーション)	介護予防～元気に生活続けるために～
診療部 (栄養)	バランスの良い食事について
診療部 (栄養)	上手な塩分の減らし方

※開催会場は、双葉地域とさせていただきます。

※標準的な時間は、講義・実技45分、質問等15分程度。

〈担当〉
ふたば医療センター附属病院
副病院長兼看護部長
児島 由利江
電話：0240-23-5072



ふたば医療センター附属病院 健康増進支援関連の活動実績										
	広野町	檜葉町	富岡町	川内村	大熊町	双葉町	浪江町	葛尾村	介護施設	企業
出前講座・事業協力	リハビリ	5月15日	9月12日	6月18日				調整中		
		5月17日	9月19日	7月11日						
		5月21日		8月22日						
		6月10日		1月14日						
		6月11日								
		6月12日								
		6月14日								
		7月8日								
		7月9日								
		7月10日								
		7月12日								
		7月16日								
		7月22日								
		9月30日								
	薬剤			8月1日						
				8月6日						
				8月8日						
				1月7日						
	栄養		9月18日	2月13日						5月27日
				3月10日						
				3月12日						
				3月17日						
	糖尿病・生活習慣病	3月19日	調整中							調整中
	疾病の理解			3月19日						
				3月24日						
	感染			12月24日					5月28日	
				12月26日						

今日、お話しすること

- 基本的な方針

- 取り組みと実績

- (1) 救急医療（多目的医療用ヘリ運用含む）

- (2) 訪問診療・訪問看護

- (3) 健康増進支援

- (4) 地域包括ケア推進支援

- (5) 在宅療養支援



地域包括ケア推進支援

ふたば医療センター附属病院 地域包括ケア推進支援の活動実績

	広野町	檜葉町	富岡町	川内村	大熊町	双葉町	浪江町	葛尾村	介護施設
町村等連携	ケア会議	ケア会議	ケア会議						
	地域包括ケア会議	地域包括ケア会議	地域包括ケア会議						
	健康福祉手帳作成委員会			放射線技師による看護業務支援 6/18・25					6月14日 意見交換会
				薬剤師による看護業務支援 6/7					
	認知症初期集中支援チーム事業								
相双地域連携	糖尿病重症化予防支援：児島								
	相双地域退院調整ルール支援：児島								
	嚥下障害への支援：児島								
	調剤薬局設立関連支援：伴場								
	相双地域リハビリ支援（相双地域リハビリテーション連絡協議会）：松下								

令和元年7月24日

毎月、8町村担当者と事例検討や意見交換、研修会などを行っています！

認知症初期集中ケアチーム活動



当院の宮川先生が双葉郡地域包括支援センターの方々に講義をされました！

今日、お話しすること

- 基本的な方針

- 取り組みと実績

- (1) 救急医療（多目的医療用ヘリ運用含む）

- (2) 訪問診療・訪問看護

- (3) 健康増進支援

- (4) 地域包括ケア推進支援

- (5) 在宅療養支援



福島県ふたば医療センター附属病院の取り組み

急性期病院存続が厳しい時代
増員は難しい、やり方を変える時代



自分の病院のあり方・役割を見直す
他病院と違う特徴ある「病院づくり」をする
地域包括ケアシステムにおける病院の役割を考える
多職種協働で取り組むシステムが必要である



対象に合わせた入院期間の調整
対象毎の課題の明確化・早期介入
多職種で情報を共有し介入



在宅療養支援の充実



福島県ふたば医療センター附属病院における在宅療養支援

回復し退院された患者が自宅で療養を
継続することができる

自分の病気を理解しているか？
療養を継続する必要性は理解できたか？
療養を継続できるか？

病気と付き合っていく！
どうすれば療養を継続できるか？

地域住民が自身の健康寿命を
延ばすことができる

今までどう生きてきたか？
健康の捉え方は？
健康を維持するための行動はとれていたか？

元気に長生きしたい！
どうすれば長生きできるか？

在宅療養支援

病気を持っても地元で元気に長生き！

外来における看療養支援

救急患者の対応

- ・ 救急隊との情報共有
- ・ ウォークイン患者の観察
- ・ 診療の補助
- ・ 精神的な支援（家族含む）
- ・ 転帰の確認・情報共有
- ・ 地域連携室との協働
- ・ 医事会計の説明
- ・ 医事課との連携

専門医療機関への搬送

- ・ 連携室との連携
- ・ 転院先の確保と連携
- ・ 搬送手段の明確化
救急車
多目的医療用ヘリ
- ・ 診療情報提供書の準備

対象を生活者として受けとめ
介入する！

入院

- ・ 入院手続き
- ・ 入院に必要な情報収集
- ・ 病棟との連携

病棟との情報共有と
地域の担当者との連
携により在宅でフォ
ローアップ！

帰宅

- ・ 必要事項の説明
- ・ 診療

「この患者さんは今回の病気以外にもフォローが必要？」「かかりつけの先生に検査してもらってください！」

再来患者の対応

- ・ 外傷などの処置
- ・ 糖尿病専門医の診察
- ・ リハビリ目的受診患者の診察

病棟における療養支援

入院中の介入方針

- ・ 治療に係る支援
- ・ 回復を促す支援
生活指導の徹底
栄養指導・服薬指導の徹底
低下した筋力等の回復促進
- ・ 退院調整

「この患者さんはどこに帰るのか？」「家族はいるのか？」「薬は自分で飲めるか？」等を考え、支援に繋げる！

対象を生活者として受けとめて介入する！

- ・ 固定チームナーシングによる看護介入
- ・ 受け持ち看護師による個別的な介入
- ・ チームカンファによる情報共有・情報交換
- ・ 入院時必要な書類作成
- ・ 地域連携室との連携

NANDA看護診断に基づく看護計画立案

- ・ 13領域の情報収集
- ・ アセスメント・全体像
- ・ 看護計画立案
- ・ 実践後の評価

在宅で療養が継続できるための介入を入院中に実践！

在宅療養支援

- ・ 対象を生活者として捉える介入
- ・ 対象が在宅に戻った時に療養を継続できる介入
- ・ 保健指導の徹底
- ・ 看護リハビリの計画的な実践

体力回復と知識を支援！

在宅での療養支援

入院中の介入方針

- 治療
- 回復を促す支援
 - 生活指導の徹底
 - 栄養指導・服薬指導の徹底
 - 低下した筋力等の回復促進
- 退院調整



「訪問看護」「訪問診療」により介入
退院時サマリにより情報提供
「訪問薬剤指導」「訪問リハ」も準備中



電子カルテで情報を共有し、ケアを継続させている！



対象を生活者として受けとめ介入する！

ケアマネと協働して
在宅療養マネジメント

救急医療から在宅医療、切れ目なくつなぐ！

ふたば医療センター
附属病院



地域

医療機関

町村保健師

地域ケアマネージャー



病気を持っても
地元で元気に長
生き！

日々の様子



消防本部との事例検討会



富岡町えびす講出展

ふたばワールド出展



見学者への説明



朝のミーティング



- 昨日からの来院患者の事例報告
- 入院患者の情報及び治療方針の共有
- 退院支援及び退院調整の協議

谷川院長主導！
全職種が参画！
職種毎に専門的な立場から
意見を述べる！

21時のミーティング

顔合わせ・非常時な
どの役割の確認！

- 夜間勤務者が参画

当直医2名・外来夜勤看護師2名・病棟夜勤看護師2名・放射線技師1名

- 入院患者の数や状態を共有

3つの安心「住民が安心して帰還し生活できる」
「復興事業従事者が安心して働ける」「企業等が
安心して進出できる」を医療面から支えるために、
活動しています。

集まってくれた職員に感謝しつつ、安心・安全な
医療を提供するため、専門職としての活動ができ
るように教育も徹底しています。

対象となる方を「生活者」として受け止め在宅で
の療養が円滑に行えるよう支援しています。

「救急医療から在宅医療を切れ目なくつなぐ！」
を方針として取り組んでいます！

今年度からは、院外活動にも積極的に取り組んで
います！

これからも住民の方々のニーズを受け止め、質の
高い医療が提供できるように努めてまいります。

ご支援・ご協力宜しくお願いいたします。



ご清聴ありがとうございました。